



人吉球磨水害から5年 DXで進化する災害対応へ。 迅速な情報共有が命を守る未来を切り拓く

令和7年7月4日に「令和2年7月豪雨における人吉・球磨地域での水害（以下、人吉球磨水害）」から5年という節目を迎えました。
この災害に遭われたすべての皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

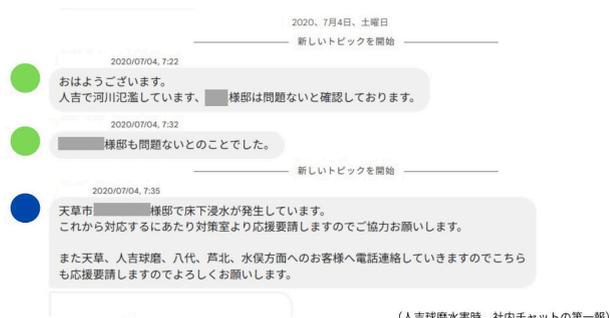
■当社の対応を振り返って

2020年7月4日午前7時22分。その日、社内のチャットに一報が届きました。

「人吉で河川氾濫しています。」人吉市在住のオーナー様を担当する社員からの連絡でした。この連絡を受け、わずか13分後の午前7時35分には、当社の災害対策室室長より「天草、人吉球磨、八代、芦北、水俣方面へのお客様（オーナー様）」へ電話での安否確認が緊急要請されました。

午前8時40分には、災害対策室内の緊急班がすでに床下浸水に見舞われている天草のオーナー様宅へ急行。その日のうちに排水作業を完了させるなど、初動から迅速な対応にあたりました。翌7月5日から9日にかけては、被害に遭われたオーナー様宅に加え、当社社員の関係者宅の復旧作業にあたりました。さらに7月7日からは、熊本北部エリア、福岡南部エリアのオーナー様へも、安否確認の連絡を実施しました。

この一連の初動において、デジタルツールを活かした情報収集が大きな力を発揮しました。これにより、いち早く安否確認の対象となるオーナー様を絞り込むことができ、初動のロスを最小限に抑えることに成功。また、迅速な情報取得は、復旧活動中の二次災害防止にも繋がり、社員の安全を確保する上で必要不可欠な要素となりました。



【人吉球磨水害発生と当社の動きの時系列】 ※青文字：当社の動き

2020年7月3日（金）

- 午後: 梅雨前線北上により九州地方の天気不安定化。
- 午後16時: 人吉市などでタイムライン運用会議開催、緊急時対応を確認。
- 深夜: 人吉市が一部地域に避難勧告を発令開始。

2020年7月4日（土）

- 未明～朝: 人吉市などでタイムライン運用会議開催、緊急時対応を確認。
 - 午前0時頃: 人吉のアメダス観測データで急激に降水量が増加。
 - 午前3時20分頃: 芦北町付近で記録的短時間大雨情報発表（約110mm）。
 - 午前3時30分頃: 芦北町・八代市付近で記録的短時間大雨情報発表（1時間に120ミリ以上）。
 - 午前4時50分: 熊本県内初の「大雨特別警報」が複数地域に発表される。
 - 午前5時15分: 人吉市が全域に避難指示を発令。
 - 午前5時50分頃: 人吉市内の山田川で球磨川水位上昇によるバックウォーター現象で堤内地氾濫。
 - 午前6時頃: 球磨川・渡水位観測所で観測史上最高水位を記録。人吉市街地で球磨川や支流の氾濫・バックウォーター現象により浸水拡大。
 - 午前6時20分: 人吉市役所にて職員参集、アクションカードに基づく業務開始。
 - 午前6時30分頃: 芦北町付近で再び記録的短時間大雨情報発表（1時間に120ミリ以上）。
 - 午前6時50分頃: 本県の監視カメラで球磨川上昇に伴う山田川への逆流を確認。
 - 午前7時20分頃: 球磨川下流（紅取橋下流）で越水が発生。
 - 午前7時22分: **社内チャットにて人吉で氾濫情報**
 - 午前7時30分: 人吉観測点で球磨川水位が観測史上最高の5.07mを記録。
 - 午前7時35分: **社内チャットにて災害対策室より天草、人吉球磨、八代、芦北、水俣方面在住のオーナー様への電話連絡要請**
 - 午前8時30分まで: 人吉市や球磨村で1時間に約110ミリの猛烈な雨を解析。
 - 午前8時40分: **天草市のオーナー様宅が床下浸水のため緊急班が出動**
(※当日夕方排水処理完了⇒7/9床下の消毒実施)
 - 午前9時頃: 球磨川氾濫を契機に、人吉市管内の電話・FAX・ネットが不通となり、外部との連絡手段が途絶。
 - 午前9時20分: 球磨川鉄道橋の枕木が浸水を確認。
 - 午前9時30分: **人吉市のオーナー様宅が浸水被害のため緊急班出動準備も高速道路閉鎖のため断念。7月5日に訪問するため準備を行う。**
 - 午前9時50分: 人吉大橋の水位が7.25mを記録。
 - 午前11時33分: **災害対策室より社員実家に被害状況確認要請**
- 午前11時50分: 熊本県内の大雨特別警報がすべて警報に切り替わる。
 - 午後12時42分: **災害対策室より翌日以降に備えたガソリン満タン、雨具、長靴、作業着、作業手袋、着替えの準備を社員へ要請**
 - 午後16時00分: **災害対策室より天草、人吉球磨、八代、芦北、水俣方面在住のオーナー様へ電話連絡にて再度被害確認要請**
 - 午後21時05分: **災害対策室より対象全件連絡完了。翌日以降の社員の行動指示。**

■これまでの災害対策の取り組み

アネシスが災害対策で最も重視するのは、「いざ」という時に迅速かつ的確に行動できる体制です。そのために、私たちは年1回の防災訓練を欠かしません。この訓練は、単なる避難訓練に留まりません。災害対策室が主導し、社員一人ひとりの安否確認を徹底することはもちろん、オーナー様への具体的なサポートを想定した実践的なロールプレイングを実施しています。例えば、震災後にオーナー様から寄せられるであろうお困り事を想定し、正確なヒアリング方法、補修や部品発注に必要な情報の収集（寸法の測り方や記録写真の撮り方など）を、現場さながらに確認し合います。

防災訓練は、社内だけでなく**協力業者会のアネシス会**や**リリース会でも年1回実施**しています。これは、災害発生時に復旧活動でご協力いただく上で、協力業者の皆様が安心して作業に取り組める環境を確保するためです。具体的には、安否確認や被害状況確認を徹底しています。これらの取り組みは、アネシスグループの**レジリエンス認証の要件**にも盛り込まれており、災害対策室を運営する上で協力業者会は必要不可欠な存在だと考えています。

2024年防災訓練（BCP訓練）写真

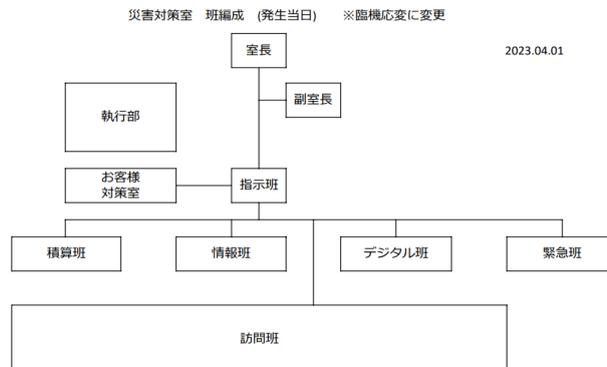


【当社の災害対策室とは】

アネシスグループの災害対策室は、お客様の安全で快適な暮らしを守るため、災害発生時に迅速かつ効果的な対応を行う専門組織です。

この組織は、グループが策定した災害マニュアルに基づき、継続的な体制改善に取り組んでいます。災害対策室は以下の役割を担う各班で構成され、緊密に連携しながら活動します。

- **室長:** 災害対策室全体を統括し、指揮を執ります。
- **副室長:** 室長を補佐し、組織運営をサポートします。
- **指示班:** 災害状況を正確に把握し、各班への指示を出します。
- **訪問班:** 台風発生時のお客様への注意喚起連絡や、被害が発生したお客様宅への訪問を行います。
- **積算班:** 修理が必要な案件の見積もり作成と発注を担当します。
- **緊急班:** 被害の緊急な修復が必要な際に、迅速な対応を行います。
- **情報班:** お客様からの被害状況を集約し、全社員へ共有します。
- **デジタル班:** ウェブサイトやSNSを災害モードに切り替えたり、お客様へLINEで注意喚起を行ったりするなど、デジタルツールを活用した情報発信を担います。
- **お客様対策室:** お客様からのお問い合わせや、専門的な対応を要する事案、解決に時間のかかるご要望に対し、迅速かつ丁寧に対応します。



■今後の災害対策への展望

今後アネシスグループでは下記の3点を強化し災害対応を行っていきます。

①オーナー様や社員、社員の家族から災害状況を共有してもらえらる環境

5年前の人吉球磨水害では、情報収集の重要性を改めて痛感しました。特に、被害の大きいエリアをいち早く特定し、対象のオーナー様の安否を最優先で確認できたことが、迅速な初動対応につながったと確信しています。

今後は、当社が注力しているLINEをはじめとしたDX（デジタルトランスフォーメーション）をさらに活用し、オーナー様はもちろん、社員の家族からも災害状況を共有いただける環境づくりに取り組んでいきます。

オーナー様と共に災害に立ち向かい、より強固な地域社会を築いていくことを目指します。

②社内連携のロスを無くす

人吉球磨水害では、社内チャットでの報告が多岐にわたり、情報の煩雑化が状況判断の妨げになるという課題がありました。今後は、AIの活用によって共有される情報から重要な点を見極め、より迅速な意思決定と対応につなげていきます。これにより、災害発生時のタイムロスを最小限に抑え、一秒でも早い行動を目指します。

③災害時も社員が安心して仕事に集中できる環境

当社は「オーナー様第一」を掲げています。オーナー様の安心・安全を守るためには、社員が安心して業務に集中できる環境が不可欠です。このため、社員やそのご家族の不安を取り除く取り組みも同時に進めます。特に、災害復旧後のストレスチェックなどを通じて、きめ細やかなアフターケアを提供していきます。

<会社概要>

会社名 : 株式会社アネシス

所在地 : 〒861-8039

熊本県熊本市東区長嶺南8丁目8 - 55

設立 : 1994年7月7日

代表者 : 代表取締役 加藤 龍也

資本金 : 3000万円

事業内容 : 熊本、福岡エリアで宅地分譲に強みを持ち住宅用宅地と建売住宅を提供

設計士と直接打合せが可能な注文住宅ブランドアーキハウスや自然素材を

活用したミニマルデザインの注文住宅など

日本レジリエンス大賞受賞

<関連会社>

株式会社リリーフ

ファミリーステージ株式会社

熊本未来股份有限公司

このリリースに関するお問い合わせ

株式会社アネシス

〒861-8039 熊本県熊本市東区長嶺南8丁目8 - 55

担当：松下（マツシタ）

TEL：090-1294-3167 MAIL：koya.matsushita@anesis.co.jp